



# コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

No.105 2022年5月号

倉敷医療生活協同組合  
コープリハビリテーション病院  
〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60  
TEL 086-444-3212  
老人保健施設 老健あかね  
TEL 086-446-6541

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

## ERnetのご紹介

地域住民の方々の価値観に1歩近づく試み

倉敷中央病院救命救急センター 医師 田村暢一朗

この度、コープリハビリテーション病院のご協力のもと、第11回ERnetというカンファレンスを開催させていただきました。

ERnetでは一人の外傷患者さんを取り上げ、実際に関わった救命士、急性期病院スタッフ、回復期スタッフ、在宅医療スタッフから実際の介入や結果をお話してもらい、一人の患者が地域包括ケ

アシステムの中で、どのように社会復帰されたかを確認しあうことを目的としています。今の医療制度は急性期、回復期、在宅ときっちり分かれており、医療者は受傷から回復するまでのごく一部の期間しか患者さんに接することができません。ERnetでは、自分たちが関わった後の患者



県内130名を超える関係職種の皆様

今回の患者さんはご自身「家に帰りたい」、家族は「転倒するリスクが高く、施設で暮らしてほしい」と希望の相違があり、どのような

を埋めていくか？が大きなテーマでした。結論としては完全な正解はない！ということになるのですが、「医療者は患者ご本人の価値観、生活を十分に考え、自分たちが持つ専門的知識を患者さん、ご家族のために活かす」という姿勢が私たちが医療者に求められていることが明らかになりました。ERnetを通じて参加者は患者さんのすべての経過を再確認し、患者ご本人の価値観、生活を考えるヒントを見出したのではないのでしょうか？



救命救急センターの池上主任部長（右側）と筆者

## ERnetで報告 本人の思いを繋げる在宅復帰

私達看護師は日々患者様に接し、家族と話し、医師・リハビリスタッフと情報共有し、ケアマネやMSWと情報交換を行います。

患者様をとりまく人々に関わる職種だからこそ、今回のように言葉の裏に隠された家族の本当の気持ちを汲みつつも、患者様の希望を叶えられるよう看護を提供することが必要です。

中でもリハビリ看護は患者様を中心にして全てを繋いでいく役割があると感じました。その役割を全うすることは難しいですが、同時にやりがいでもあると思います。

（コープリハビリテーション病院 回りハ病棟 看護師 石橋珠理）

訪問リハビリは、退院後安全に在宅生活が送れるように生活動作評価・環境調整を中心に行なっています。ですが、想定外の生活から逸脱し強い個人因子や疾患が影響で支援に難渋するケースが多々あります。

今回のケースも、患者様の「家で過ごしたい」と思いと御家族の思いの相違がありました。退院後は自宅に帰れた喜びで動作指導・環境調整などスムーズに可能でしたが徐々に外出欲求が抑えられず外



左から回りハ病棟の石橋ナース、老健あかね訪問リハの樋口、長谷川理学療法士

出・転倒、苛立ちが増してしまいました。その中でも、患者様の思いは変わりませんでした。不安から苛立ち、動作が自己流になっていくことや転倒後の動作に変化がないか動作指導を行ない、居室サービス関係者と情報共有・統一したことで室内での動作は概ね安全に行えるようになりました。今回の発表で、訪問リハビリとしての役割を再認識することができました。（老健あかね 訪問リハビリ 理学療法士 長谷川一郎 樋口愛子）

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

# 新任職責者紹介



コープリハビリテーション病院  
5階病棟看護科 副主任  
永野 香須美

この度、5階病棟の副主任となりました永野香須美と申します。

私は高卒後に准看護師の資格取得後子育てが一段落したのを機に正看護師の資格をとったため年齢の割に経験は長くはありません。パートを経て健寿協同病院に常勤として入職し看護師として育てていただきました。

今回、このようなお話を頂



老健あかね  
リハビリ科 副主任  
藤原 明子

この度、老健あかねリハビリテーション科の副主任を務めさせて頂く事になりました。入職して16年。水島協同病院、回復期リハビリテーション病院を経て2010年より老人保健施設 老健あかねで勤務しております。老人保健施設も制度の変化とともに、ここ10年で大きく変化しています。

いた際に私で務まるのだからかと大変悩みましたが、看護師として指導、支えてくださった看護部長の大丈夫との言葉に自分のできることを頑張ってみようと思うことができました。

老健あかねより、6年ぶりの療養病棟での勤務となります。あかねで学ばせて頂いた生活援助を活かし、療養病棟でも安心して療養生活を過ごして頂けるように努力していきたいと思えます。

たくさんの方にサポートして頂くことになるかと思いますが、精一杯努力していきますのでどうぞ宜しくお願い致します。

# 移転5年目を迎えて

## 連携病院から多くの

### 転院相談

医療福祉相談・連携室はソーシャルワーカー6名と事務職員1名の体制で、相談業務・連携室業務にあたっていきます。移転後、アクセスの良さも重なり、連携病院から多くの転院相談をいただいています。相談に来られる方からは「リハビリがとても良いと評判を聞いた」という声を聞きます。

回復期リハ病棟退院後、老健入所のリハビリ、短時間通所リハ、通所リハ、訪問リハビリなどを利用することで機能を維持し在宅生活を続けられています。社会の様相がますます厳しくなるなかで、経済的問題や社会的問題を抱える患者さんも多く、多くの機関との連携が求められます。ソーシャルワーカーとして少しでも皆さんのお力になれるように、他職種と協力しながらこれからも研鑽していかねければと思います。

(コープリハビリテーション病院  
医療福祉相談・連携室  
中曾真知子)



相談業務中の筆者

## 事務課の風土づくりを 実践して

病院が移転してから早5年。煩雑な業務の見える化、職場環境の整備など事務課の体制や風土は大きく変わりました。「はじめは人が習慣をつくり、それから習慣が人をつくる」良い職場づくりに欠かせない言葉だと私は思います。

この言葉の実践として、Web面会があります。新型コロナウイルスの世界的流行により2020年9月から始めたWeb面会は、現在までに延べ686人の方にご利用頂いています。Web面会を実施していく中で事務課職員より、1階という人の出入りの多い場所でのプライバシーに配慮した設営、ご案内をしたいと意見も上がりました。

まだ先の見えない新型コロナウイルスの収束。事務課として少しでも患者様・利用者様、ご家族様にご安心頂けるよう努力していきたいと思えます。

(コープリハビリテーション病院  
事務課 土戸真衣)



web面会の案内をしている筆者(左)

# 新入職員紹介



コープリハビリテーション病院  
3階病棟 看護師  
森田菜月・細川祐平・宮城幹季



コープリハビリテーション病院  
3階病棟 看護師  
尾崎節子



コープリハビリテーション病院  
3階病棟 看護師  
中村佳子

診療表							
コープリハビリテーション病院				老健あかね			
外来受付時間 8:30 ~ 12:00				[086-444-3212]			
診療時間	外来	装具 外来	歯科	短時間 通所 リハビリ	短期集中 健幸アップ 教室	訪問リハビリ	通所 リハビリ
午前 9:00 ~ 12:30		14:30 ~ 15:00		午後 9:00 ~ 16:50	9:30 ~ 11:00		9:00 ~ 16:00
月				○		○	○
火	渡辺	○ (予約制)	山崎 (予約制)	○		○	○
水	飯塚			○		○	○
木	太田		山崎 (予約制)	○		○	○
金	小田			○		○	○
土						○	○

医療福祉相談・連携室			
相談 受付時間	平日	9:00~12:00	13:30~16:30
	土曜日	9:00~12:00	
	日・祝日	休み	



○お問い合わせ先  
倉敷医療生活協同組合  
コープリハビリテーション病院  
老人保健施設 老健あかね  
TEL 086-444-3212(代表)  
受付時間 平日 9:00 ~ 16:30  
土曜日 9:00 ~ 12:00  
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057  
倉敷市水島東千鳥町1-60  
ホームページ: <http://coopreha.jp/>  
メールアドレス: [info@coopreha.jp](mailto:info@coopreha.jp)  
広報委員会  
発行責任者 笹館 勝人

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。